

2) 地域活動の活性化

→これまで地域活動への関わりが薄かった人たちの参画などによる地域団体の活動の活性化の支援

3) 多様な協働(マルチパートナーシップ)の推進

→地域団体をはじめ、NPO、企業など地域のまちづくりに関する多様な主体のネットワーク拡充への支援

4) 市民による自律的な地域運営の実現

→地域団体をはじめ、NPOや企業など地域のまちづくりに関する多様な主体のネットワーク拡充への支援

5) 地域資源が循環する仕組みづくり

多様な分野におけるコミュニティ・ビジネス化、ソーシャル・ビジネス化の支援

6) 中間支援組織の活用

→地域社会づくりに向けた地域の取り組みの支援にあたって、様々な中間支援組織がもつ専門的知識やノウハウを幅広く効果的に活用するための仕組みづくり

これらは、地域生活をすすめていくなかで、多様化している地域課題であったり、地域コミュニティの機能低下という問題に対して、地域社会をどう構築していくかという根本をなすものであり、われわれもともに考えていき、参加していくことが重要となっています。

<参考> 大阪市ホームページ

6月28日付読売新聞 他

全日本手をつなぐ育成会

平成24年度全国事務局長会議 開催

全日本手をつなぐ育成会の平成24年度全国事務局長会議が、6月13日(水)東京都障害者福祉会館において開催されました。大阪市育成会からは法人本部より、泉原総務部長が出席しております。

北原理事長からは、障害者制度改革の目的は「共生社会」の実現にあるとして、育成会としても制度政策要求や権利擁護運動がすすめていき、どんな障害があっても地域で暮らせる社会づくりを本格的にすすめていきたいと述べられました。

報告事項のなかで、2012年度の事業計画について

は田中常務理事より説明がありました。

重点目的として、東日本大震災の復興支援と地域づくりを二大方針であることを確認したうえで、近く、法人三役および被災3県(岩手・宮城・福島)の代表等で復興支援対策本部を立ち上げるとの報告がありました。

また、10月に高知県にて開催される全国大会(最終面掲載あり)について、現地の代表より進捗状況が報告され、全組織を挙げて成功を期することが確認されています。そして、財政面では平成23年度決算が実質的に赤字であったことを受けて、育成会組織の充実・強化と財政の健全化・基盤強化を掲げています。

その他の重点課題としては、

- ・障害児の療育、教育の充実と子育て支援、家族支援の推進
- ・本人参加と豊かな暮らし、安心して安全な地域暮らしの推進
- ・権利擁護のシステムの構築と差別禁止法制定の実現
- ・障害者権利条約の批准に伴う国内法整備の促進
- ・運動体と事業体の連携による地域支援体制の強化促進

などが挙げられています。

そして、活動の推進体制のなかでは、本人活動推進委員会についても採り上げられていますので、最後に紹介しておきます。

- ・本人のエンパワーメントと社会参加に向けた本人活動の推進
- ・全国8ブロック選出の本人活動推進委員による本人活動支援の強化
- ・全国の本人活動組織の構築および強化への支援
- ・本人たちによる全国組織の立ち上げ支援
- ・全日本育成会の本人理事について検討
- ・本人活動と育成会活動の相互理解と連携強化
- ・本人のための研修の拡充、全国大会への企画、参加支援
- ・各種施策ならびに本会の活動に対する本人参画支援

***スポーツフェスタ大阪2012について**

今年度より、大会事務局が ジェアイシーウエスト株式会社 となりましたので、申込み・お問い合わせは、同社宛となります。詳細については同社ホームページにて、実施要項および参加申込みをダウンロードのうえ申込み手続き願います。(締め切りは7月末日まで)

問い合わせ先) ジェアイシーウエスト株式会社

TEL 06-6941-5187 まで